

特定非営利活動法人大阪自然史センター

2012 年度事業報告

(平成 24(2012)年1月1日～12月31日)

事業実施報告

特定非営利活動法人大阪自然史センターは 2012 年に 11 周年を迎えた。その間、広く自然史科学の発展と普及にとり組み、大阪市立自然史博物館(以下、「博物館」と略す)の事業の進展に寄与することを通して、市民の自然に対する理解を深めることを目的として事業を展開してきた。

社員はじめ各事業関係者の皆様の支援と協力を得て、友の会事業・ミュージアムサービス事業・出版事業はじめ、芥川緑地資料館指定管理や関西自然保護機構運営など自然保護・自然環境保全に関する事業・大阪キッズプラザ生態展示管理事業や池田市五月山動物園ウォンバットプロジェクト、ワークショップなど普及教育事業・大台ヶ原自然再生計画関連調査研究事業など幅広く多彩な内容を実施し、実績を残した。

2012 年には関西出身の山中伸也教授がノーベル賞を受賞され、自然科学の基礎的分野の必要性を説かれていた。このことは、センターのミッションでもある自然史科学普及啓発に携わる者にとっては、モチベーションを上げる刺激にもなった。IPS 細胞として世の中に広く知れ渡ったが、生物界では広く見ることができる現象でもあることは、観察会や各種行事でも触れられてきたことでもある。自然に接する機会をより多く作り、多様な自然界をより広く知ってもらう事業をますます充実させていくことを一層考えさせられた年となった。

また、東日本大震災復興支援では、博物館はじめ西日本自然史系博物館ネットワークで被災地支援の各種事業が展開されるなか、センターも独自に助成事業に着手するなど関係団体と協力体制を整え友の会事業やワークショップ事業などで積極的に取り組みを続けている。

2012 年は国際生物多様性年の 3 年目として各地で関連事業が開催され、センターでは、シンポジウムや研究会等に参加するとともに、大阪を中心に活動する核的な団体と「生物多様性かんさい」を構成し、企業を交えた研究会に参加するなど普及活動に積極的に参加した。特に、大阪市の生物多様性シンポジウムに後援するなど関連事業に参画した。

センターの活動は、自然系団体の中間支援的な活動も一層要請されている。自然史科学の進展をめざし、行政のみならず企業・民間団体とも協力し、その普及啓発事業を整えるため、2012 年度「新しい公共」の事業の採択を受けた。「生物多様性保全ネットワーク」を立ち上げ、キックオフミーティングとしてシンポジウムを開き、大阪自然史フェスティバル 2012 の開催、大阪 RDB 関連事業を展開するなど、市民とともに歩む広範な自然史科学の普及活動を着実に進めてきた。その流れをくみ、2013 年度にも実施予定の計画を策定している。

このような多彩で広範な事業を展開するに当たっては、数多くの協力者のもと大いなる成果を上げている。その事業の展開においては、組織の経営の充実も欠かせない。そこで、事務局職員体制の充実と職員の研修などを通じて、少数精鋭でフレキシブルに対応できる組織を目指し、日常的にコミュニケーションをとり、関係者の意欲が形となる職場をめざし、環境を整え対応してきている。

今後も社員をはじめ職員、関係者を交え、広く自然に親しもうとする市民・市民団体とともに更なる事業発展につなげていきたい。

各事業について

1. 友の会事業

[内 容]

大阪市立自然史博物館友の会を組織し、会報 Nature Study 毎月の12回発行と月例ハイキングや友の会合宿など自然観察事業を実施

[場 所]

大阪市立自然史博物館および大阪府下など

[日 時]

平成24年通年

[対象者]

大阪市立自然史博物館友の会へ入会した市民等 1638名、賛助会員 55名

2. ミュージアムサービス事業

[内 容]

大阪市立自然史博物館・花と緑と自然の情報センターへの来館・来場者に自然史科学の普及およびサービスを実施するため大阪市から占用許可を受け、定期的な博物館との連絡会を設け博物館の掲げる趣旨に沿って自然史に関する書籍、グッズ等の提供し、春・夏・秋の特別展示をはじめ各種イベント開催にあわせ提供物品を充実させ博物館来場者・博物館ファンの満足を得られるよう物品サービスの提供に努めた。

[場 所]

大阪市立自然史博物館

[日 時]

平成24年通年

[対象者]

一般来館者

3. ボランティア事業

[内 容]

大阪市立自然史博物館主催行事などの市民の自然観察を支援し、また、同時に自然観察の指導を行える補助スタッフ、リーダーを育成、養成した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館内および大阪府下など

[日 時]

平成24年通年

[対象者]

大阪市立自然史博物館友の会会員並びに市民

4. 出版事業

[内 容]

自然史科学の書籍の発刊企画を行い、自然観察を通じて自然史科学の普及に努める準備をした。
「バラ科植物の紫外線写真図鑑」、「いのちの森・生物多様性公園をめざして」を発刊した。

5. 調査研究受託事業

[内 容]

自然史科学の振興のための大台ヶ原自然再生調査・貝塚市自然環境保全基本調査・ダイキン工業現地簡易調査・ニホンジカ生息状況調査事業を受託・実施した。

[日 時]

平成24年通年

[場 所]

大阪府下等

6. 普及教育受託事業

[内 容]

自然史科学の普及教育のため各種イベント・事業のチラシ・資料・看板等作成、特別展デジタル展示作成、ワークショップなどを受託・実施した。また、博物館等維持管理の一環として天王寺動物園から動物剥製標本の修復事業を受託実施した。キッズプラザ大阪展示「アリコロカナギス」維持管理業務、池田市五月山動物園「ウォンバットプロジェクト」業務も今期より受託実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館、大阪市天王寺動植物園、キッズプラザ大阪、五月山動物園、大阪府下など

[実施日時]

平成 24 年通年

7. 自然保護・自然環境保全事業

(1) 関西自然保護機構

[内 容]

関西自然保護機構を組織し、会誌の発行、シンポジュームの開催、研究支援事業の実施、自然保護に関する提言、調査研究の受託、その他機構の目的を達成するために必要な事業を実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館、大阪府下など

[日 時]

平成 24 年通年

(2) 大阪生物多様性保全ネットワーク事業

[内 容]

新しい公共の場づくりのためのモデル事業として生物多様性協働の開催、大阪自然史フェスティバル 2012 の開催、大阪 RDB 関連事業を展開するなど、市民とともに歩む広範な自然史科学の普及活動を実施した。

[場 所]

大阪市立自然史博物館、大阪府下など

[日 時]

平成 24 年通年

8 施設運営管理事業

高槻市芥川緑地資料館の施設管理運営事業

[内 容]

自然史科学の振興普及および自然保護・自然環境の保全に関する体験施設の運営管理事業を実施した。

高槻市芥川緑地資料館の施設管理運営事業の共同受託

地元の NPO 法人芥川倶楽部と大阪自然史センターが共同で「あくあぴあ芥川共同活動体」を組織し、センターでは主に人事経理総務部門を受け持ち、高槻市の仕様にに基づき施設の維持管理及び普及活動に邁進してきた。

[場 所]

高槻市南平台 5-59-1

[事業期間] 平成 23 年度から 25 年度末まで

社員総会の開催状況

[名 称] 平成 23(2011)年度定期(第 11 期)総会
[場 所] 大阪市立自然史博物館実習室
[日 時] 平成 24 (2012) 年 1 月 21 日 午後 3 時 15 分～4 時 30 分
[出席者数] 43 名 (社員総数 61 名 本人出席 25 名、委任状出席 18 名)
[内 容]

議 事

第 1 号議案 平成 23 (2011) 年度事業報告 (資料 事業報告書参照)

事務局から定款記載の事業を例年どおり実施したことが報告され、出席社員の満場の一致をもって平成 23 (2011) 年度事業報告を承認した。

第 2 号議案 平成 23 (2011) 年度決算報告

(資料 貸借対照表、損益計算書、経費内訳書、収支計算書、契約一覧)

事務局から決算内容が説明され、監事から監査報告があり、出席社員の満場の一致をもって平成 23 (2011) 年度決算を承認した。

第 3 号議案 平成 24・25 (2012・2013) 年度事業計画 (資料 事業計画書)

事務局から定款記載の事業を実施する旨の提案説明があり、事業計画資料については監督官庁の指示に基づき文言を修正することがある旨を了承し、出席社員の満場の一致をもって平成 24・25 (2012・2013) 年度事業計画を承認した。

第 4 号議案 平成 24・25 (2012・2013) 年度収支予算 (資料 収支計算書)

事務局から提案説明し、一部誤植を修正し、また、監督官庁の指示に基づき文言を修正することがある旨を了承し、出席社員の満場の一致をもって平成 24・25 (2012・2013) 年度予算を承認した。

第 5 号議案 認定 NPO 法人化に向けて (資料 改正 NPO 法スタート)

事務局から認定 NPO 法人化について説明し、出席社員に諮ったところ、満場の一致をもって承認した。

報告事項 理事の役割分担について

事務局から千地万造理事長が健康上の理由により代表職を辞任され、理事としてとどまり、理事長には谷田一三氏の就任が理事会にて承認された旨を報告した。

理事会の開催状況

第 1 回理事会

[名 称] 平成 24(2012)年度第 1 回理事会
[場 所] 大阪市立自然史博物館 応接室
[日 時] 平成 24(2012)年 1 月 21 日(土)午後 1 時 30 分～3 時
[出席者数] 10 名 (総数 14 名 本人出席 6 名、委任状出席 4 名)
[内 容]

議 事

第 1 号議案 . 平成 23 (2011) 年度事業報告 (資料 1 事業報告書参照)

第 2 号議案 . 平成 23 (2011) 年度収支決算報告 (資料 2 貸借対照表、損益計算書、収支計算書)

第 3 号議案 . 平成 24,25 (2012,2013) 年度事業計画 (資料 3-1,3-2 事業計画書)

第 4 号議案 . 平成 24,25 (2012,2013) 年度収支予算 (資料 2-2,,2-3 収支計算書)

第 5 号議案 認定 NPO 法人化に向けて

昨年度実績として 3000 円以上の寄付者 94 名。

仮認定制度に向けて準備を始め、認定 NPO 法人を取得する方向で進める。

第 6 号議案 理事の役割分担について

千地万造理事長が健康上の理由により理事長を辞任し、理事としてとどまり、全一致で谷田一三理事の理事長就任を承認した。

谷田一三理事は即刻、理事長就任を承諾

第2回理事会

[名 称] 平成24年第2回理事会

[場 所] 大阪府環境情報プラザ研修室

[日 時] 平成24年3月24日(土曜日)午後1時~2時30分

[出席者数] 11名 (総数14名 本人出席 9名、委任状出席 2名)

[内 容]

議 事

1) 事務局組織について

センター職員の人事採用及び体制

西澤真樹子・室山里美 4/1より年次雇用職員として採用

デザイン担当補充 事業拡大増員

現在公募中

2) 新年度館の体制の件

3) 就業規則の改正及び定期昇給について

- ・ 年次雇用職員・臨時職員採用の試用期間の設定

3ヶ月間を試用期間とする

- ・ 通勤手当月額 35000円までとする
- ・ 職員旅費規程 自家用車の利用の項を追加
- ・ 定期昇給 平均1号俸の昇給とする

4) 大阪生物多様性保全ネットワークについて

- ・ 3/24 大阪府環境情報プラザ研修室にて設立総会

5) 認定NPO制度の今後の取り組み方針について

- ・ 仮認定申請の方向で進む
- ・ 寄付金の目的・事業ワーキングを明確に認定NPO取得に取り組む

6) 2012年度上半期の事業について

- ・ 大阪キッズプラザ生態展示「アリコロカナギス」管理事業
4/1より3ヶ年契約で受託
西澤真樹子・室山里美を中心に進める
- ・ 池田市動物園関連事業
見積書提出中
- ・ 貝塚市自然環境調査事業
例年通り
- ・ ミュージアムサービス事業
今期より入札制となったが落札(3ヶ年契約)
- ・ 天王寺動物園
未定
- ・ 近鉄百貨店文化教室
ワークショップ等提案中
- ・ 高槻市芥川緑地資料館の施設運営指定管理
2011決算見込み、2012事業、指定更新状況の報告
- ・ 姫路市科学館昆虫標本整理(未決定)
- ・ バラ科植物写真図鑑出版
3/10 700部出版
- ・ 震災関連事業について
助成金等申請予定

第3回理事会

[名 称] 平成 24 年第 3 回理事会
[場 所] 大阪市立自然史博物館会議室
[日 時] 平成 24 年 9 月 1 日（土曜日）午後 2 時～4 時 30 分
[出席者数] 8 名（総数 14 名 本人出席 5 名、委任状出席 3 名）
[内 容]

議 事

定款変更（法改正に伴うもの）に向けての案（別紙資料参照）
通常総会で対応可能
登記変更手続きの報告
6/15 理事長以外の理事の代表権喪失の登記手続き完了
（理事長のみを登記し、他の理事は削除する（定款の定めに沿って登記することとなったため））
大阪生物多様性保全ネットワークの活動状況
生物多様性協働フォーラム との連携
RDB 検討の進捗など
上半期の事務事業の進捗、下半期の事務事業について
大阪自然史フェスティバル(11/10 11)の取り組みなど
大阪キッズプラザ 3/週 メンテ 順調に進んでいる
池田 ZOO ウォンバット関連のワークショップなど
震災支援関連事業（JR 助成金獲得）
あくび 施設の老朽化が課題
10/13 大阪市 eco フェス（於 大阪城公園）参加
大阪市環境事業協会 11/24-25
事務局体制
認定 NPO に向けて（寄付金受け入れ方など）賛助会員会費の寄付金の扱いの明確化
その他
ホームページのリニューアル(作成中)

第4回理事会

[名 称] 平成 24 年第 4 回理事会
[場 所] 大阪弥生会館
[日 時] 平成 24 年 12 月 18 日（火曜日）午後 6 時 00 分～7 時 00 分
[出席者数] 10 名（総数 14 名 本人出席 6 名、委任状出席 4 名）
[内 容]

議 事

報告 1 2012 年平成 24 年の事務事業実績
人事（職員補充）4 月より年次職員 西澤・室山 2 名採用
友の会ほか各種事業 別紙 1 参照
ワークショップほか大阪市受託事業関係
新しい公共：大阪生物多様性保全ネットワーク事業 別紙 2 参照
大阪自然史フェスティバル結果
東日本震災支援事業
大阪キッズプラザ
池田市五月山動物園ウォンバットドリームプロジェクト
IHI 相生工場自然観察地図作成
ほか
報告 2 指定管理事業（あくあびあ芥川）の受託の進捗
次期指定管理計画について検討

報告 3 事業契約状況と次年度契約動向 別紙 3 参照

議題 1 2013 年平成 25 年総会(2012 年度)に向けて 別紙 3 参照
2012 年度平成 24 年度事業報告・決算見込み
2013 年度 2014 年度事業計画・予算

議題 2 次回理事会および 2012 年度総会の開催について
平成 25 年 1 月 19 日午後 1 時 30 分から理事会
同 午後 3 時 00 分から総会
提出議案について
定款変更申請の件

議題 3 役員改選について
渡部理事・松井理事任期満了・他理事は再任予定
新理事として井上淳氏を推薦

議題 4 出版事業について
韮公園の自然と歴史 都市公園の生物多様性
バラ科植物の紫外線写真図鑑
セミ展・甲殻類ミニガイド増刷

議題 5 認定 NPO へ向けて
来期、認定申請できる方向で進める。
3,000 円以上×100 人以上の寄付獲得方法

今回の改正により、認定を受けるための要件の一つである P S T 要件の判定方式に、絶対値により判定する方式が導入され、現行の割合による判定方式(総収入に占める寄附の割合が 5 分の 1(20%)以上)と選択適用できることとされた。

絶対値の具体的な水準は、実績判定期間内の各事業年度中の寄附金の額の総額が 3,000 円以上である寄附者の数の合計数が年平均 100 人以上であることとされている。

なお、寄附者数の算出に当たっては次の点に注意。

- ・ 氏名又は名称及び住所又は主たる事務所の所在地が明らかな寄附者のみを数える。
- ・ 寄附者本人と生計を一にする者も含めて一人として数える。
- ・ 寄附者が、その特定非営利活動法人(以下「NPO 法人」といいます。)の役員及び役員と生計を一にする者である場合は、これらの者は、寄附者数に含めない。

この改正は、平成 23 年 6 月 30 日以後の認定申請から適用。

詳細は <http://www.nta.go.jp/tetsuzuki/denshi-sonota/npo/npo.htm> を参照

議題 6 【検討課題】 ホームページのリニューアルに関して
社会課題に対してどのような形で社会貢献しているか
実施に向けて普及活動(事業 A)・収益活動(事業 B)・経営基盤整備
活動(事業 C)
ミッション・キャッチコピー・役員の肩書き公表・財産(ヒトモノカネ情報ネット
ワークインフラ……)公表
閲覧対象者: 対市民(事業参加・支援協力)企業者……
信用力を高めるために(見せ方: 公共事業、コラボ実績、内部管理に
会計事務所を入れている……)
いま、センターが持っている財産?これから増強する財産

議題 7 その他

にじゅうまるプロジェクト 今後継続検討